



東北防衛局では、日米の相互理解を深める取組みとして、在日米軍関係者と地域の住民の方々がスポーツ、文化などを通じて交流を行う「日米交流事業」を開催しています。

令和7年9月18日（木）、つがる市立車力小学校において「日米交流かかし作り交流プロジェクト in つがる2025」の表彰式を開催し、小学校の児童と米陸軍車力通信所の軍人等31名が参加し、交流を深めました。

同年7月16日に日米の参加者が混合5チームに分かれて制作したかかしは、つがる市内に展示され、人気投票が行われました。表彰式では、人気投票の結果によって選ばれた金賞、銀賞、銅賞、特別賞（車力通信所指揮官賞、車力小学校長賞）が発表され、参加者全員に賞状と記念品が授与されました。

児童からは「初めてかかしを作ったためわからないことがたくさんあったが、米軍の人と協力して作れてよかった。」「かかしを作るのは難しかったが、一生の思い出になった。」話し、米軍人も「子どもたちがとてもいい作品を作ってくれた。来年も参加できるのを楽しみにしている。」と話しました。

車力小学校の佐々木校長からは、「かかしの作成では、子どもたちが米軍参加者と協力して楽しそうに作業していた。春の田植えでの交流も含め、かかし作りは日米交流のよい機会となっている。」とのお話がありました。

表彰式終了後、米軍参加者に対し児童が積極的に英語を使って話しかけたり、別れを惜しみながら大きな声で挨拶したりするなど、かかし作りや表彰式を通して児童と米軍が交流を深める様子が見られました。

東北防衛局は、在日米軍と地域住民の方々の相互理解の一助となるよう、今後も様々な形で活動してまいります。



主催者挨拶（榮森企画部次長）



金賞の授与



銀賞の授与



銅賞の授与



指揮官賞の授与



校長賞の授与



金賞受賞作品



集合写真



7月に作成した5体のかかし



交流の様子